

令和3年度 校長より ③

6月4日（金）から6日（日）の間に関東大会が行われました。本校からは、剣道部、弓道部、ウエイトリフティング同好会が出場し、各種目の会場において、関東中に大船高校の名を轟かせてくれました。団体戦では入賞できなかったものの、弓道部は予選を勝ち上がりベスト16、個人戦では弓道部とウエイトリフティング同好会が入賞を果たしてくれました。高校入学後に始めた競技において関東大会で入賞することは、並々ならぬ努力があったことと推察します。本人にとっても大変価値があるものと思いますが、こうした結果を出せていることは、大船高校の他の生徒にも大変刺激となり、学校全体にとっても良い効果を生み出してくれていると感じています。部活動は生徒が3年間取り組むことで、自分自身の人格の礎を築いてくれる貴重な経験の場となる教育活動であると思います。今後も充実した部活動が実施できるように、生徒の支援や環境の整備に努めて参ります。

6月9日（水）と10日（木）には、本校の文化祭である「白帆祭」が行われました。昨年度より「しらほんぶ」（有志の実行委員会）のメンバーが中心となって、今年度の企画や運営の準備を進めてきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、開催自体が危ぶまれましたが、県の出している「保健管理ガイドライン」に従って感染症対策を整え、企画内容を精選することで、予定の日時に実施することができました。特に今年度は、4月に3週間ほどの臨時休業があったため、準備期間を極端に縮小せざるを得ない状況となりましたが、「しらほんぶ」のメンバーが何度も話し合いを重ねて、各クラスや各団体との連絡を密に取りながら、制約がある中での実施に至る道筋を探り、見事に開催するに至りました。また、今年度は条件付きながらも、保護者の方々への公開に踏み切りました。万が一のことを考えた上で、その対応を保護者の皆様にお願ひしました。ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。今年度の「白帆祭」は、こうした数々の苦難や難題がありましたが、生徒たちは全てのことを「自分事」として受け止めて取り組み、それを乗り越えてくれました。こうして開催した「白帆祭」だからこそ、生徒たちにとって例年以上に価値があるものになったと思います。実行委員長をはじめ、「しらほんぶ」のメンバーが発揮したリーダーシップはすばらしかったです。そして、「しらほんぶ」、実行委員、それぞれのクラス、団体に活動した全ての生徒たちの力により作り上げた文化祭でした。こうした生徒たち一人ひとりに、心から感謝の言葉と敬意を表したいと思います。この経験を、今後の教育活動や自分の人生に大いに活かしてほしいと思います。

部活動も学校行事も、生徒たちにとって、「自立」「協働」「創造」の力を身に付ける貴重な場であると思います。生徒の「文武両道」が実現できるように、今後も取り組んで参ります。

令和3年6月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆